

Title	七字眞明教授：略歴と主要業績
Sub Title	Kurzbiographie Masaaki Shichiji
Author	
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2025
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. ドイツ語学・文学 (Hiyoshi-Studien zur Germanistik). No.66 (2025.) ,p.67- 71
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	七字眞明教授退職記念号 = Sonderheft für Prof. Masaaki Shichiji
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032372-20250331-0067

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

七字眞明 教授 略歴と主要業績

1959 年 4 月 14 日生

学歴

- 1982 年 3 月 慶應義塾大学文学部文学科独文学専攻卒業
- 1984 年 3 月 慶應義塾大学院文学研究科独文学専攻修士課程修了
- 1985 年 7 月 DAAD（ドイツ学術交流会）給費奨学生としてドイツ・ケルン大学に留学（1988 年 10 月帰国）
- 1989 年 3 月 慶應義塾大学院文学研究科独文学専攻博士課程単位取得退学

職歴

- 1989 年 4 月 慶應義塾大学法学部非常勤講師（～ 1991 年 3 月）
明治学院大学非常勤講師（～ 1991 年 3 月）
- 1990 年 10 月 慶應義塾大学総合政策学部・環境情報学部非常勤講師（～ 1991 年 3 月）
- 1991 年 4 月 慶應義塾大学経済学部助手
- 1991 年 4 月 日本独文学会文化ゼミナール実行委員（～ 1993 年 3 月）
- 1993 年 4 月 慶應義塾大学経済学部専任講師
明治学院大学非常勤講師（～現在）
- 1993 年 4 月 日本独文学会文化ゼミナール記録論文集刊行委員会委員（～ 1995 年 3 月）
- 1994 年 4 月 慶應義塾大学経済学部助教授
- 1996 年 4 月 慶應義塾大学福澤基金奨学生としてケルン大学独語・独文学研究所に留学（～ 1998 年 3 月）
- 2002 年 4 月 慶應義塾大学経済学部教授（～現在）
- 2003 年 4 月 日本独文学会和文誌編集委員会委員（～ 2005 年 3 月）
- 2006 年 4 月 慶應義塾大学経済学部外国語委員会委員（～ 2010 年 3 月）
- 2007 年 10 月 慶應義塾大学外国語教育研究センター運営委員会委員（～ 2013 年 9 月）
- 2007 年 10 月 慶應義塾大学外国語教育研究センター学事推進委員会委員（～ 2013 年 9 月）

- 2008年4月 慶應義塾創立150年記念事業検討委員会WG委員（～2010年3月）
- 2009年10月 慶應義塾大学経済学部日吉学習指導副主任（～2011年9月）
- 2009年10月 慶應義塾大学経済学部障害学生支援委員会委員（～2013年9月）
- 2009年10月 慶應義塾大学外国語教育研究センター兼担所員（～2013年9月）
- 2010年4月 慶應義塾大学経済学部外国語委員会委員長（～2012年3月）
- 2011年1月 慶應義塾大学経済学部・経済学研究科枠交換派遣留学生選考委員（～2011年9月）
- 2011年4月 慶應義塾大学日吉語学部門主査（～2013年9月）
- 2011年4月 慶應義塾大学日吉メディアセンター協議会委員（～2013年9月）
- 2011年4月 慶應義塾大学日吉ITC利用者協議会委員（～2013年9月）
- 2011年4月 慶應義塾大学日吉研究室運営委員（～2013年9月）
- 2011年10月 慶應義塾大学経済学部日吉学習指導主任（～2013年9月）
- 2011年10月 慶應義塾大学外国語教育研究センター副所長（学事推進委員会担当）（～2014年9月）
- 2011年10月 慶應義塾大学経済学部広報委員会委員（～2013年9月）
- 2011年10月 慶應義塾大学経済学部シアンスポ小委員会委員（～2013年9月）
- 2012年9月 日本独文学会和文誌編集委員会委員（～2014年8月）
- 2013年4月 東京大学大学院人文社会系研究科非常勤講師（～2015年3月）
- 2013年4月 東京大学文学部非常勤講師（～2015年3月）
- 2014年11月 慶應義塾大学外国語教育研究センター所長（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学外国語教育研究センター副所長（公開講座慶應外語担当・兼務）（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学教育委員会委員（～2021年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学教養研究センター運営委員（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学自然科学研究教育センター運営委員（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学国際センター運営委員（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター運営委員（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学GICセンター運営委員（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学言語文化研究所運営委員（～2024年9月）
- 2014年11月 慶應義塾大学日吉ITC利用者協議会委員（～2024年9月）
- 2015年10月 慶應義塾大学HRP（Hiyoshi Research Portfolio）運営委員会委員（～2020年9月）
- 2016年4月 慶應義塾大学経済学部研究プロジェクトコーディネーター（～

2018 年 3 月)

2023 年 10 月 慶應義塾大学日吉研究室運営委員会委員長 (～ 2024 年 9 月)

主要業績

1. 「新たな人生と新しい作品形式のための「区切り」としての出発 (たびだち) ——マックス・ベックマンのトリプティック『出発 (たびだち)』 (1)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 66 号 2025 年 3 月
2. 『はじめて学ぶドイツ語文法』 (共著)
慶應義塾大学出版会 2023 年 7 月
3. 「芸術の「誘惑」 ——マックス・ベックマンのトリプティック『Versuchung』 (2)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 62 号 2022 年 3 月
4. 「「思慮なき自然の模倣」あるいは「実り無き抽象」へ——マックス・ベックマンのトリプティック『Versuchung』 (1)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 59 号 2019 年 10 月
5. 「「目隠し」と「遊び」 ——マックス・ベックマンのトリプティック『Blindekuh』 (2)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 58 号 2019 年 3 月
6. 「「見せかけの《現在》」と「目隠し遊び」——マックス・ベックマンのトリプティック『Blindekuh』 (1)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 55 号 2018 年 3 月
7. 「「生の仮象」から「本質的な事物」へ、あるいは仮装の宴——マックス・ベックマンのトリプティック『カーニヴァル』 (2)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 53 号 2016 年 3 月
8. 「「アダムとエヴァ」から「カーニヴァル」へ——マックス・ベックマンのトリプティック『カーニヴァル』 (1)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 52 号 2015 年 3 月
9. 「フランツ・マルク対マックス・ベックマン——《新しい絵画》をめぐる論争 (2)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 49 号 2012 年 3 月
10. 「フランツ・マルク対マックス・ベックマン——《新しい絵画》をめぐる論争 (1)」
慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第 48 号 2011 年 3 月
11. 「『黙示録』から『ファウスト』へ——マックス・ベックマンの 2 つのイラ

- ストレーション集におけるイメージの「転用」と「変容」
 慶應義塾大学日吉紀要『人文科学』第25号 2010年5月
12. 『新・ドイツ語第三部』
 慶應義塾大学出版会 2009年3月
 13. 「マックス・ベックマン『ゲーテ《ファウスト第二部》のためのイラストレーション』における「自画像」と「空間」(2) ——記憶のモザイク」
 慶應義塾大学日吉紀要『言語・文化・コミュニケーション』第39号
 2007年12月
 14. 「絵画に向けられた「視線」」
 日本独文学会研究叢書 第43号 2006年6月
 15. 「マックス・ベックマン『ゲーテ《ファウスト第二部》のためのイラストレーション』における「自画像」と「空間」(1) ——イメージの受容と再生産」
 慶應義塾大学藝文学会『藝文研究』第91-2号 2006年3月
 16. 「„Wirklichkeit“ und „Idee“ oder die „Teile“ und das „Ganze“ eines Kunstwerkes — Adalbert Stifters Kunstauffassung in seinen späteren Schriften zur bildenden Kunst —」
 慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第28号 1999年3月
 17. 「„Denn im Anfang war der Raum, diese unheimliche und nicht auszudenkende Erfindung der Allgewalt“ — Max Beckmanns Illustrationen zu Goethes »Faust II« —」
 慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第27号 1998年9月
 18. 『Wörter und Wendungen——ドイツ語基本単語・表現集』(共著)
 慶應義塾大学出版会 1994年6月
 19. 「Analogie als ästhetisches Verfahren — „Natur“ und „Mensch“ in späten Werken Adalbert Stifters —」
 慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第18号 1994年3月
 20. 「Adalbert Stifter „Das Haidedorf“ — Landschaft und Poesie in einer gebrochenen Idylle —」
 慶應義塾大学日吉紀要『ドイツ語学・文学』第14号 1992年3月
 21. 「„Der fromme Spruch“ — Form und Humor in der späten Erzählung Adalbert Stifters —」
 慶應義塾大学獨文學研究室『研究年報』第8号 1991年3月
 22. 「„Frühlings Erwachen“ — Formanalytisch betrachtet —」
 慶應義塾大学獨文學研究室『研究年報』第7号 1990年3月

23. 「„Hamburgische Dramaturgie“ — Ein dramatisches System und der Begriff des „Menschlichen“ bei Lessing —」
慶應義塾大學藝文學會『藝文研究』第56号 1990年1月
24. 「『電気石』論——継続なき世界——」
慶應義塾大學獨文學研究室『研究年報』第6号 1989年3月
25. 「『電気石』論——閉鎖空間の機能をめぐって——」
慶應義塾大學獨文學研究室『研究年報』第2号 1985年4月